

土壌診断・申込用紙

●ご記入のうえ、サンプルと一緒に送付してください。(太文字は必須事項)

ふりがな	所属名(グループ名)		生年 月日	S H	年	月	日
氏名	ほ場名	地名	地番	採取月日	年	月	日
住所	〒						
TEL.	携帯.	E-mail					

作物名	今作(次作)	品種					
	前作	品種	収量	多・普・少	病害	有・無	
栽培方法	露地栽培 ハウス栽培(促成 抑制 半促成) 高設栽培 その他						

は種予定月日	月	日	定植予定月日	月	日	収穫予定月日	月	日
--------	---	---	--------	---	---	--------	---	---

ほ場の種類	水田 畑地 山林 樹園地							
土壌の種類	砂地	粘土質	火山灰質	その他(泥炭など)	作土の深さ	浅い	普通	深い
土壌の性質	埴土(粘土分50%〜) 埴壤土(指で触って指紋がつく) 壤土(砂と粘土半々) 砂壤土(砂が多い) 砂土(砂分87%〜)							
水はけ(排水性)	特に悪い 悪い 普通 良い 特に良い							

■従来施肥・使用資材(10a当り) ※資材の成分(%)を記入してください。

資材名	施肥量/kg	N窒素/%	Pリン酸/%	K加里/%	Mg苦土/%	Ca石灰/%					
元肥施肥量	窒素=	kg、リン酸=	kg、加里=	kg、苦土=	kg、石灰=	kg					
追肥施肥量	窒素=	kg、リン酸=	kg、加里=	kg、苦土=	kg、石灰=	kg					
土壌改良材											
堆肥の投入	はい	(t/	牛	豚	鶏	/	生	半熟	完熟)	いいえ
その他	わら	もみ殻(生	粉碎)	その他()				

●相談内容をお書きください

株式会社 轟園産

----- 切り取り線 (土壌サンプルと一緒にビニール袋に入れてください) -----

ふりがな	所属名(グループ名)		生年 月日	S H	年	月	日
氏名	ほ場名	地名	地番	採取月日	年	月	日
住所	〒						
TEL.	携帯.	E-mail					

なぜ正しい採土が大切か？

適切な施肥設計を行うためには、正確な土壌診断が必要です。それには適切な場所の土を調べることが重要です。質のいい作物をつくるための第一歩は、正しい採土を行うことから始まっています。

複合土壌診断
のステップ



いつ採土するのか？

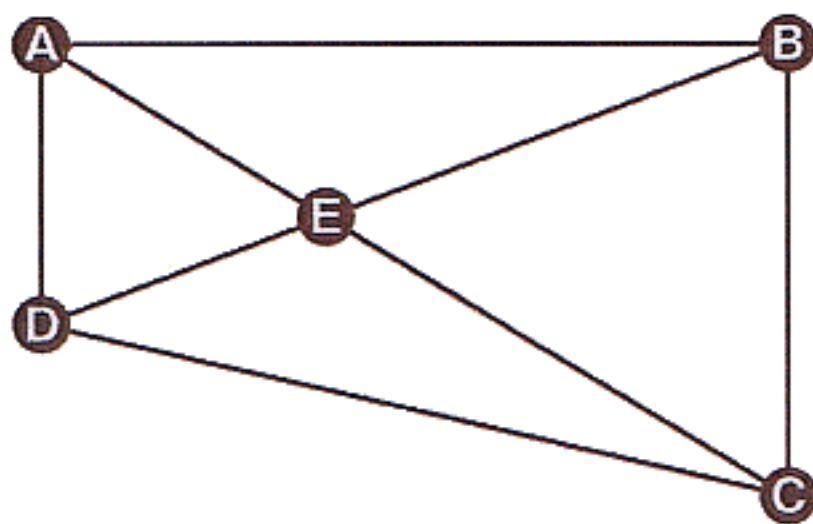
基本として、施肥前及び耕うん前の状態で採土してください。 ※予防診断の場合は、栽培終了後。

どこで採土するのか？

ほ場全体の状態を診断するため、下図5カ所の土を混合したものを計測します。

- ① 各所からそれぞれ 500g を採土して混合します。
- ② ①で混合した土 2,500g から 1,000g を抽出し、それを 1 検体の試料としてビニール袋に入れてください。
(乾燥させる必要はありません)

ほ場全体



よくある質問

- ◎ 段々畑など高低差があるほ場の場合は？
① 高所・低所・その中間の土が採れるように、位置を調整してください。
- ◎ ハウス栽培をしている場所とない場所があるのですが？
① 1カ所はハウスのある場所(またはない場所)が含まれるように調整してください。
- ◎ 病害・生育障害の場所があるのですが？
① 障害区と正常区に分けて、2検体を採土してください。

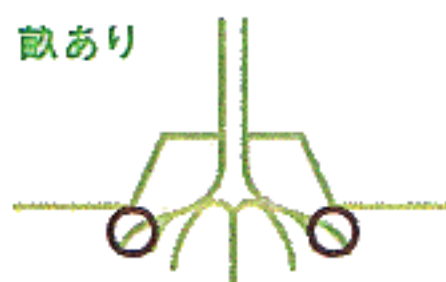
上図A～Eの各部において、地表から10～20cm程度の深さ、“根が張る”部分(根群域)の土を採ってください。一般的には、畑ならば作物の両肩の下方、畝がある場合は畝の両肩の下方、果樹の場合は果樹の根元と雨落ちの下方の土を採集してください。根菜の場合は根の再下部周辺の土も含めた3箇所の土を採集してください。

【畑】

畝なし



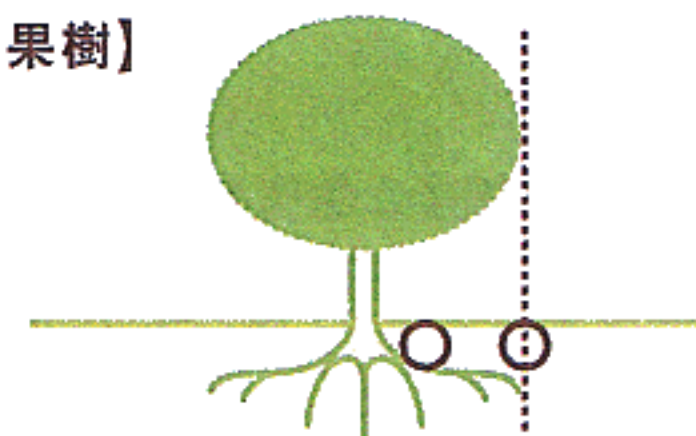
畝あり



根菜



【果樹】



送付先 検体を入れたビニール袋に、氏名・作物名・ほ場を記入し、下記に送付してください。

株式会社 轟園産 〒880-0123 宮崎県宮崎市大字芳士1675-1 Tel:0985-39-9550